

令和7年度 事業報告

事業概要

令和7年度の当シルバー事業は、社会全体の人手不足や、屋外作業を始めとする旺盛な需要に引き続き支えられ、受注実績額は前年度を上回りました。一方で、高齢を理由とした退会が相次ぎ、令和7年度は大幅に会員数が減少する状況となりました。就業実人員が伸び悩み、高齢化が加速する現状においては、将来を見据えた会員増強、とりわけ60代を中心とした若年齢層会員の確保が喫緊の課題となっております。

令和7年度は、第5次中期事業計画（R7～R10）の初年度に当ることから、各数値目標の達成に向け、役職員、会員一丸となって取り組んでまいりましたが、就業率、派遣就業延人員、ボランティア人員については目標達成できたものの、会員数、請負・委任就業延べ人員などは目標達成には至りませんでした。

事業実績（派遣事業除く）では、会員数が500名（男性279名・女性221名）、受注件数が922件、契約金額が247,043,472円、就業延人員が33,045人日、就業率78%、ボランティア活動延人員322人日の各実績となり、前年度との数値比較では、契約金額、就業率、ボランティア活動がいずれも実績増となりましたが、残念ながら会員数、受注件数、就業延べ人員については実績減となりました。また、令和8年度開始予定の包括的契約移行に向け、フリーランス法や副次的負担の発生、契約手続きなど、利用者向け新制度理解の周知に取組みました。

会員の状況については、新規会員が64名（男38名・女26名）【前年度：43名（男20名・女23名）】に対して、退会者が78名（男45名・女33名）【前年度：63名（男40名・女23名）】となり、前年度（514名）より14名減の500名となりました。

訪問家事援助事業（新総合事業）については、受注件数、契約金額、就業延人員いずれも前年度比較で実績減となりました。

労働者派遣事業については、前年度に引き続き、沖縄県連合と緊密な連携を図り事業を推進した結果、契約金額、就業延人数いずれも堅調な実績増となっております。

なお、各事業内容の状況については、次のとおりとなっております。

事業実績

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供
- ① 第五次中期事業計画の各数値目標を達成するため、企業や公共機関、一般家庭等からの受託事業により就業機会の確保・拡大を図るとともに入会促進を図りました。

第五次中期事業計画(目標値と実績)

	目標値	実績	達成率
会員数	531名	500名	94.2%
就業率	71.0%	78.0%	109.9%
就業延人員（請負委任）	34,150人日	33,045人日	96.8%
就業延人員（派遣事業）	1,459人日	1,976人日	135.4%
ボランティア活動	317人日	322人日	101.6%

② 事業実績(前年度との比較)

	令和7年度	令和6年度	前年度比較	前年度対比
会員数	500名	514名	△14名	97.3%
受注件数	922件	965件	△43件	95.5%
契約金額	247,043,472円	238,715,119円	8,328,353円	103.5%
就業延人員	33,045人日	34,053人日	△1,008人日	97.0%
就業率	78.0%	72.2%	5.8%	108.0%
ボランティア活動	322人日	321人日	1人日	100.3%

③福祉・家事援助サービス事業の拡大を図るとともに訪問家事援助事業（新総合事業）も積極的に取り組みました。令和7年度は、利用者の入院等による利用回数減などにより受注件数、契約金額、就業延人員とも実績減となりました。当事業は市の委託事業として、主に住宅内清掃や買物、調理等、室内における短時間就業であることから、女性会員を始め、家事援助作業を希望する会員の就業提供先として期待されています。

訪問家事援助事業

	令和7年度	令和6年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	65件	79件	△14件	82.3%
契約金額	3,412,852円	3,677,462円	△264,610円	92.8%
就業延べ人員	2,108人日	2,402人日	△294人日	87.8%

③ 就業の提供にあたっては、均衡化・適正化を図る観点からグループ就業やローテーション就業の推進に努めました。

④ 独自事業は、会員がその知識と経験・技能を生かし、企画・運営、創意工夫により就業機会の創出を図る事業であります。実績を挙げるまでには至りませんでした。

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行う形態であります。今年度は希望する高齢者がいませんでした。

② 労働者派遣事業

会員の就業機会の拡大を図るため、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業を実施しましたが、前年度比較で受注件数は若干減少したものの、契約金額、就業延べ人員などで前年度よりも数値が伸び、着実に実績を伸ばしております。

労働者派遣事業

	令和7年度	令和6年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	47件	55件	△8件	85.5%
契約金額	10,607,645円	7,682,379円	2,925,266円	138.1%
就業延べ人員	1,976人日	1,441人日	535人日	137.1%

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会を開催しました。

① 対象：正会員・一般市民

② 講習内容

ア 刈払機・カルマーの技能講習会を実施しました。

当センター会議室にて講義方式による座学・陸上競技場内にて実技

第1回 令和7年 7月31日 (会員8名参加)

第2回 令和7年10月15日 (会員5名参加)

講師 シルバー会員延べ6名

イ 黒木の剪定技能講習会を実施しました。

当センター会議室にて講義方式による座学・市総合公園内にて実技

日時 令和7年11月19日 (会員11名、一般2名参加)

講師 一般社団法人日本造園組合連合会沖縄支部

(宜野湾造園土木) 仲間 用継氏 (美厚造園土木) 宜野座 厚氏

ウ 清掃業務の技能講習会を実施しました。

市立中央公民館第二研修室にて講義方式による座学・同館の研修室・トイレにて実技を実施

日時 令和8年2月27日 (会員24名、一般2名参加)

講師 沖縄ビルメンテナンス(株) 新垣 和史氏

エ 機械取扱い講習会(チェンソー、トリマー)を実施しました。

当センター会議室にて講義方式による座学・陸上競技場内にて実技

日時 令和8年3月11日 (会員17名参加)

講師 (株)ヨシダ機器サービス 崎山 太氏 シルバー会員1名

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

効果的かつ効率的な普及啓発活動を推進するため、一般市民、事業所、官公庁等への普及啓発活動を行いました。

ア 市広報誌を活用し、毎月、入会促進及び就業拡大について記事を掲載しました。

イ 「会員募集」「就業開拓」チラシを新たに作成し市民への配布等シルバー事業の普及啓発に努めました。

ウ シルバーだより「とよむ」を9月、3月と発行(1,200部×2回)し、会員及び市役所・市立中央公民館・市立中央図書館並びに関係機関に配布しました。

エ 普及啓発促進月間(10月)行事の一環として、民間商業施設サンエー豊見城ウィングシティ交流広場でパネル展(R7.10/2~5)を開催。又、ラジオCMを放送しシルバー事業を周知しました

オ 自主・自立の基本理念に基づき、会員主導の意識強化を図るため普及啓発部会を開催しました。(4回)また、地域班長・副班長会議を開催しました。(4回)

カ 就業現場でのぼり旗を掲揚し、普及活動を行いました。

キ 新春交流もちつき大会を、前年度に引き続き開催しました。

ク ホームページを活用し、センターの情報発信を行いました。

② 安全・適正就業の推進

シルバーへの就業依頼が、屋外作業を中心に堅調な伸びを示す中で、就業等における安全意識の高揚と啓発を、安全適正就業推進大会を始め、毎日の朝礼等で注意喚起を図ってまいりましたが、残念ながら12件（前年度12件）の事故が発生しました。昨年度と同様に事故が多発傾向にあることから、「安全はすべてに優先する」の徹底、意識高揚を図っていく必要から以下の取組みを実施しました。

- ア 安全掲示板を設置して無事故日数を表示し、安全意識の高揚を図りました。
- イ 安全就業・健康管理の周知徹底を図るため、安全・適正就業推進大会（7月）を開催し、併せて「安全・適正就業について」と題して、公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合事務局長の新里博一氏を講師に講演会を開催しました。
- ウ 安全就業委員を各職群班から選出し、安全・適正就業の意識高揚に努めました。
- エ 安全就業委員会を開催（3回）しました。
- オ 機械・器具等の事前・事後の点検及び整備の強化を図りました。
- カ 就業に必要な安全防具・防護ネット・立看板・パイロン等の整備に努めました。
- キ 会員の健康保持・増進及び生活習慣病の予防を図るため、特定検診の受診を促進しました。
- ク 安全就業推進員を配置し、現場の見積り時点で安全性の確認を行いました。
- ケ 毎朝、事務所前広場においてラジオ体操を行い、安全就業推進員から安全・適正就業等に対する注意喚起を行いました。
- コ 安全就業推進員による安全パトロール（392ヶ所）及び県連合（安全・適正就業パトロール指導員）との合同巡回指導（12回）を実施しました。
- サ 理事長・事務局長による安全パトロール（12回）を実施しました。
- シ 安全就業委員による安全パトロール（11回）を実施しました。
- ス 「安全就業基準不履行等会員に対する減点措置制度」（ペナルティ制度）を周知し、安全に対する意識の高揚を図りました。
- セ 「新型コロナウイルス感染予防対策」として、「うがい」「手洗い」「人ごみを避けましょう」の注意喚起を図りました。
- ソ 事故発生の頻発化を受け、全会員向けに事故防止徹底に関する緊急通知文を発送し、事故の傾向を掲載し、注意喚起を促しました。

③ 調査研究

令和8年4月から包括的契約方式へ移行する予定であることから、フリーランス法などの制度理解、更に新契約移行に伴い生ずる利用者側への副次的負担（消費税の負担発生）に関する内容や、新しく変わる契約書を始めとした関係書類などについて、県連合並びに移行済みの先行拠点センターなどから情報収集を図るとともに、それらの対策について職員間の意見集約、調査研究を行いました。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に適した就業を開拓するとともに、入会の促進を行いました。

- ア 就業機会開拓推進員が一般家庭・事業所等を訪問し、チラシの配付を行いながら就業機会の拡大を図りました。
- イ 会員がチラシ配付をして会員確保・就業機会の拡大を図りました。
- ウ 就業現場周辺でのぼり旗を設置し、就業開拓・入会促進を図りました。

エ 就業機会開拓推進員が発注者を訪問し、再受注（リピーター対策）を図りました。

⑤ 相談・情報提供

ア 入会を希望する高齢者を対象に定期の入会説明会（毎月15日）を行うと共に、必要に応じた臨時の入会説明会（個別を含）等を実施しました。また、センターの基本理念及び趣旨並びに事業内容を紹介し、入会の促進を図りました。

（定期説明会 12回92名、個別説明会 4回6名 計98名参加・64名入会）

イ シルバー事業普及啓発月間の一環としてパネル展示を大勢の市民が訪れる市内商業施設で開催いたしました。その結果、645名の来場者があり、広く市民への周知が図られました。

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、一般市民と連携して社会参加活動を実施しました。

ア シルバー事業普及啓発促進月間（10月）行事の一環として、市総合公園周辺の清掃、市社協前から中央公民館前までの道路沿い植栽木（クロキ）の剪定、および市役所周辺における幹線道路沿いの清掃などボランティア活動を実施しました。（延べ89人日参加）

イ 交通安全街頭指導のボランティア活動を夏期・秋期・冬期の年3回実施しました。（延べ193人日参加）

（4）組織・事務局体制の整備強化

① 理事会を定期的で開催（12回）し、組織の活性化及び運営体制の充実強化に努めました。

② 健全かつ効率的な事業運営を図るため、事務事業の改善に努めました。

③ 事務局会議を開催（毎週1回）し、情報の共有・相互連携に努めました。

④ 会員、発注者及び役職員に対してガイドラインの周知徹底に努めました。

⑤ 全シ協や九シ協、連合が実施する各種研修会等に参加し職員の資質向上に努めました。